

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等 「平成24年度熊谷市表彰式」の開催について

1. 実施日時等 平成 24 年 4 月 7 日 (土) ・午後 10 時 00 分から
平成 24 年 4 月 7 日 (土) ・午後 11 時 10 分まで

2. 会場・主催地 熊谷市立大里生涯学習センター「あすねっと」文化ホール

3. 主催者・関係者

(1) 団体名等 熊 谷 市

(2) 代表者名 熊谷市長 富 岡 清 TEL 048-524-1111 内線 204

4. 事業内容 市政に功労のあった方々を表彰するため、「平成24年度熊谷市表彰式」を開催します。

本市で最も権威ある、熊谷市表彰条例に基づく表彰では、本市の文化の興隆、福祉の増進、産業の発展又は自治の振興に貢献された4名の方々を表彰します。(功績は別紙参照)

また、熊谷市表彰規則により、市政に功労のあった119名の方々の表彰に併せ、熊谷市職員表彰規程により77名の職員を表彰します。

5. 目的・理由 市政に功労のあった方々を表彰し、その功績を称えるため。

6. 経緯・経過

7. 影響・効果

8. この事業の実施による特記事項

(1) 県内の状況

ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

・

※ 資料の有無 (・ 無)

担当課 市長公室秘書課

担当者 腰塚・井桁

連絡先 TEL 048-524-1111 内線 204

別 紙

平成 2 4 年度
熊谷市表彰条例に基づく被表彰者
功績調書

文化功労表彰

いしかわ もりひこ
石川 守彦 氏（94歳 熊谷市弥生在住）

元熊谷市美術家協会副会長

元熊谷市郷土文化会副理事長

元熊谷白陽写真会会長

熊谷市文化功労者(熊谷市教育委員会 平成14年)

— 功 績 —

石川守彦氏は、昭和14年、県内では写真団体の先駆けとなる熊谷白陽写真会に入会し、昭和44年から昭和55年まで会長を務められる一方、熊谷市美術家協会においては、創立会員として写真部を確固な存在へと育みながら、昭和55年には副会長に就任し、会全体の発展に奔走されるとともに、熊谷市美術展では、昭和41年開催の第1回展から28年間にわたり審査員を務められるなど、写真文化の発信と興隆に尽力されました。また、市立図書館における、写真講座の講師や写真クラブの指導者としての活躍と相まって、昭和62年には熊谷市郷土文化会副理事長に就任されるなど、地域文化の進展に大きく貢献されました。

さらに、氏は、昭和初期に活躍した本市出身の写真家、故佐藤虹二氏の散逸されかけた膨大なネガフィルムを3年余りの歳月を投じて整理し、平成6年に遺作写真展を開催されるなど、日本における代表的写真家、佐藤氏の地位確立にも貢献されました。

また、「20世紀の記録・熊谷の写真展」では、委嘱作家として116点の作品を出品し、記念講演を行われたほか、氏の撮影された戦争下の写真など、時代を写す膨大な量の作品は、本市の歴史を後世に引き継ぐ上でも貴重な存在となっています。この他、平成16年には国体関連事業「石川守彦 熊谷を撮り続ける展」（市立図書館主催）において、昭和20年から昭和40年代の市内風景を始め、昭和42年の埼玉国体やさいたま博覧会等の写真を展示されるなど、本市の発展と地域文化の向上に寄与された功績は誠に顕著です。

福祉功労表彰

にしだ さだゆき
西田 貞之 氏（67歳 熊谷市石原在住）

元熊谷市医師会会長
元熊谷市高齢社会対策審議会副会長
熊谷市産業医
藍綬褒章(平成16年)

— 功 績 —

西田貞之氏は、昭和57年、熊谷市医師会に入会以来、医師として30年余の長きにわたり、地域医療の充実と発展に尽力され、謹厳実直にして穏やかな人柄により周囲の信望も厚く、平成12年から平成20年までの8年間、医師会会長として卓越した指導力と情熱をもって、地域医療体制の整備・充実と市民福祉の増進に大きく貢献されました。

医師会会長在任中の平成14年4月には、医師会の理解と協力なくしては果たし得なかった、365日の夜間診療機能を充足する「熊谷市休日・夜間急患診療所」を開設へと導かれるなど、小児救急の充実・発展と地域医療の確保に心血を注がれました。

また、氏は、予防医学の観点から産業医として本市職員を始め、数多くの民間企業職員の健康管理に当たるとともに、熊谷地域産業保健センターの相談窓口に、「休日・夜間」機能と「メンタルヘルス」機能の拡充を図る取り組み等により地域労働衛生の向上に努められたほか、日本医師会認定産業医の育成にも意を用いられています。

さらに、大里広域地域包括支援センターや介護老人保健施設等の運営を通じ、介護、福祉、医療など、各般にわたり地域に貢献されるとともに、熊谷市高齢社会対策審議会副会長として、その基本計画の策定の取りまとめに尽力されたほか、熊谷市総合振興計画審議会委員、熊谷市公務災害補償等認定委員会委員等の要職を歴任されるなど、広く本市の発展と市民福祉の向上に寄与された功績は誠に顕著です。

産業功労表彰

かすがい まさおみ
春日井 正臣 氏（69歳 熊谷市妻沼在住）

くまがや市商工会会長
元妻沼商工会会長
熊谷市観光協会副会長
全国商工会連合会長表彰(平成17年)

— 功 績 —

春日井正臣氏は、地域を取り巻く経済環境が厳しさを増す中、平成2年には妻沼商工会理事、平成14年からは副会長を歴任し、その手腕と実績に加え、温厚誠実な人柄に由来する周囲の厚い信任のもと、会長に就任された平成22年には、埼玉県商工会連合会理事、熊谷地区労働基準協会理事、産業教育振興会熊谷支部副支部長等の要職に就かれ、正に地域経済団体のリーダーとして、その振興・発展に大きく貢献されました。

また、自動車エンジン部品製造の自社企業の経営に当たっては、人と技術の調和を経営理念として、企業づくり人づくりに努められる一方、昭和61年には事業を通じた地域社会への貢献として、氏による商工業及び中核的農家の育成確保の思いを込めた旧妻沼町への寄附が原資となって、その翌年には産業振興奨励賞春日井基金の創設へと結実し、基金の果実は、現在も地域産業の振興施策に充てられています。

さらに、新熊谷市誕生後、旧3町の商工会の合併に奔走され、熊谷地区商工会合併協議会会長を経て、くまがや市商工会設立委員会委員長に就任されると、その豊富な見識と卓越した指導力をもって、多くの課題や困難を乗り越えられ、合併の成就に心血を注がれました。

平成23年4月1日、「くまがや市商工会」発足後は、会長として引き続き地域商工業の活性化に向け腐心されているほか、熊谷市観光協会副会長、熊谷地区暴力排除推進協議会理事、熊谷市コミュニティづくり市民協議会委員等を務められるなど、本市の発展と産業の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

自治功労表彰

かさい まさみ
河西 昌美 氏（73歳 熊谷市箱田在住）

元熊谷市議会議長

元埼玉縣市議会議長会会長

元関東市議会議長会支部長

埼玉県知事表彰(平成13年)

— 功 績 —

河西昌美氏は、昭和54年、地域の厚い信望を得て熊谷市議会議員に初当選され、以来5期20年の長きにわたり、市政進展のため献身的な努力と情熱を傾け、本市の発展と市民福祉の向上に大きく貢献されました。

この間、氏は、総務常任委員会副委員長、土壌式汚水浄化等調査研究特別委員会副委員長等を歴任し、平成7年には、市議会副議長に就任され、議長の良き補佐役として、広く市民の意見を反映しつつ、多くの課題解決に力を注がれました。

こうした氏の優れた政治手腕と明朗・誠実な人柄が、多くの支持を得て、平成11年に市議会議長に就任されました。議長在任中は、卓越した指導力で議会内の意見を取りまとめ、議会と執行機関との綿密な連携を図りながら、効率的かつ円滑な議会運営に尽力されました。

また、熊谷市監査委員、熊谷市農業委員会委員、熊谷深谷と畜組合議会議員、熊谷地区消防組合議会議員、大里広域市町村圏組合議会議員等、幅広く活躍された氏は、平成11年3月には埼玉縣市議会議長会会長の要職に就任されるなど、市政及び広域行政の充実と発展に多大な貢献をされました。

さらに、本市のまちづくりの根幹といえる熊谷市総合振興計画審議会の委員を長年務められ、計画策定とその推進に尽力されたほか、熊谷市箱田公民館館長として、生涯学習の普及振興はもとより、地域コミュニティの充実・強化に努められるなど、本市の発展と地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著です。